

東京、川崎、横浜 3港の振興協会会長が一堂に会する

## シンポジウム「港から未来をひらく」が開催されます

『神奈川新聞』創刊125周年を記念して、同新聞社主催のシンポジウム「港から未来を開く」が開催されます。

港は、明治以降、国際物流のゲートウェイとして重要な役割を果たしながら発展して来ましたが、しかしながら、昨今状況は大きく変化しております。企業の生産活動のグローバル化、新興国の経済発展などにより、海外港湾が飛躍的な発展を遂げるとともに、サプライ・チェーンの維持やシームレスな物流などが従来以上に重要になって来ており、港湾もこれらの要請に応えることが求められております。また、このような国際的な要請のほか、国内では、今後のトラックドライバー不足、地球温暖化対策（モーダルシフト）、震災対策としてのBCP（事業継続計画）などを考慮する必要も生じています。

このシンポジウムは、このような現況を踏まえて、我が国国際物流の一大拠点となっている首都圏の主要港湾とその後背地での、諸輸送モードの組合せによる効率的な物流ネットワーク形成など、この要請に対する取組や、それらを通じた港の発展について、東京、川崎、横浜3港の振興協会会長と専門家が一堂に会して議論し、今後を展望するものです。

**聴講を希望される方は、神奈川新聞社のホームページ (<http://www.kanaloco.jp>) の専用フォームからお申込みください。**

1. シンポジウム名 港から未来をひらく
2. 日 時 平成27年10月30日（金） 13:00～16:00
3. 場 所 はまぎんホール ヴィアマーレ（横浜市中区）
4. 構 成
  - (1) 基調講演 「港を中心とした流通のいまー国内外の事例から」  
流通経済大学教授 苦瀬博仁様
  - (2) パネルディスカッション 「港の競争力強化と物流の高度化を目指して」  
一般社団法人東京都港湾振興協会会長・日本貨物鉄道株式会社代表取締役会長 石田忠正様  
公益社団法人川崎港振興協会会長 斎藤文夫様  
一般社団法人横浜港振興協会会長 藤木幸夫様  
公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 J I L S 総合研究所長 佐藤修司様  
神奈川臨海鉄道株式会社会長 山内 智様  
(コーディネーター) 苦瀬博仁様